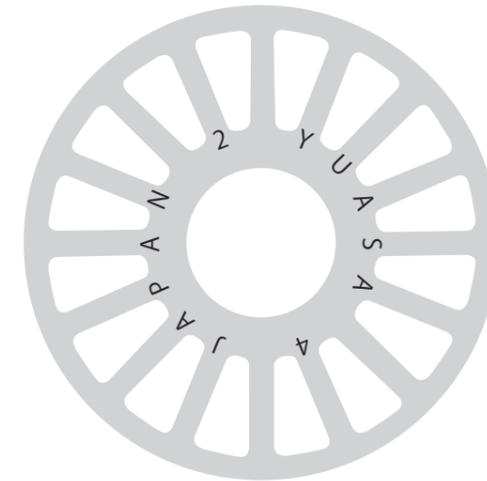




湯浅系道工業株式会社

YUASA YARN GUIDE
ENGINEERING CO., LTD.



YUASA YARN GUIDE

ENGINEERING CO., LTD.



湯浅糸道工業株式会社は、日本で唯一のセラミックス・金属・樹脂の複合材質ヤーンガイド・装置類トータルメーカーです。国内の大手繊維・電線機械メーカーおよびユーザーとの直接取引をしています。また、世界各地の太い販売網を通じて世界20カ国以上の顧客に商品を販売しています。

YUASA STANDARD 世界の繊維業を支える“YUASA STANDARD”
糸の道が続くかぎり私たちも走り続けます

日本の繊維業への貢献で磨かれた湯浅糸道工業が誇る品質は、“YUASA STANDARD”として世界のお客さまにお届けしています。高品質な繊維を安定的に生産する上で欠かすことのできないYUASAのプロダクトは、世界各国のニーズに合わせた繊細なカスタマイズを施すことで、大きな信頼を得るまでに成長し日々進化を続けています。

1 BRAND
信頼性

2 QUALITY
品質

3 INTEGRATED
技術力

YUASA STANDARD

3 PROMISE 受け継がれる信念と、もの創りへのこだわり。
世界から認められた“YUASA STANDARD”は「高い信頼性」「高い品質」「高い技術力」の融合により支えられています。培われたノウハウは明日へと受け継がれ、新時代の製品創りに活かされています。

1924年に「湯浅商店」として誕生した湯浅糸道工業は 2024年創業100周年を迎えることができました。

お客様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様に心より感謝申し上げます。
皆様と共に歩んだ100年は、私たちの“かけがえのない宝物”です。
この先の100年、200年先まで見据えて社会に必要とされる
企業であり続けられるよう努力を重ねてまいります。

社是「調和」

- 1.商品の3大要素=品質、価格、納期
3要素の一つが欠けても顧客の満足は得られない
- 2.自分の得意なことに磨きをかける
誰にも負けない分野を一つは養う
- 3.不得手なことに目を向ける
誰にでも不得手不得手は有る、どんなに不得手なことでも
努力すれば、何とか人についていける位にはなれる
- 4.職業人として完成する前に先ず人間でなければならない

社訓「誠実・迅速・創造」



「湯浅商店」創業
名古屋市東区で個人企業として繊維機械用糸道および部分品の製作販売「湯浅商店」創業



「湯浅糸道工業株式会社」設立
硬質クロムめっき加工糸道の製造部門として「湯浅糸道工業株式会社(本社 名古屋市中区)」を設立



創業満50年に当たり「創業満50周年記念式典」を開催



湯浅商店「桐生営業所」設立
群馬県桐生市に出張所開設

「湯浅糸道工業株式会社」が「合資会社湯浅商店」を吸収合併

中砂工場および中砂寮を天白区中砂町に建設の上、稼働

大阪営業所を開設
関西地区の拠点として「大阪営業所(大阪市中央区安土町)」を開設

本社屋本館完成

本社西館完成

日進寮完成

中砂町に南第1工場を再建設

中砂町に南第2工場を再建設

本社中館を再建設

PCネットワーク構築

上海に銷售中心を開設

中砂町に南第3工場を再建設
創業80周年記念行事を進行

エコステージ1認定

名古屋工事業所認定
(現:なごやSDGSグリーンパートナーズ)

大阪営業所閉鎖

第5工場建設

愛知ブランド企業に認定

湯浅滋社長就任

会社案内動画公開 第1弾

あいちグローバル企業見学バスツアー受け入れ

湯浅糸道工業の情報発信メディア YUASAMEDIA公開

ホームページリニューアル

会社案内動画公開 第2弾

mirrevavrによる
本社・第3工場の見学動画の導入

創業100周年

1924
(大正13)

1952
(昭和27)

1954
(昭和29)

1963
(昭和38)

1967
(昭和42)

1968
(昭和43)

1974
(昭和49)

1978
(昭和53)

1979
(昭和54)

1984
(昭和59)

1990
(平成2)

1992
(平成4)

1993
(平成5)

1995
(平成7)

2000
(平成12)

2002
(平成14)

2004
(平成16)

2006
(平成18)

2008
(平成20)

2011
(平成23)

2013
(平成25)

2016
(平成28)

2017
(平成29)

2019
(令和元年)

2020
(令和2年)

2021
(令和3年)

2022
(令和4年)

2023
(令和5年)

2024
(令和6年)

Company History

創業

大正

昭和

50周年

平成

令和

創業
100周年

Product History

1950



テンションワッシャ
●テンションワッシャ生産開始(1956)
●テンション装置製作(1957)

1960



Y-601テンサ Y-618ストッパ
●硬質クロムめっき完成(1963)
●Y-601テンサ生産開始(1965)
●Y-618ストッパ生産開始(1966)
●TC型テンションコンペンセータ(1964)
●φ25ベアリングローラーガイド製作(1965)

1970
(Nシリーズ)



カムトラバースガイド
●カムトラバースガイド生産開始(1975)
●オイルガイド製作(1976)
●インターレーサ製作(1978)

1980
(Aシリーズ)



ストレージテンサ ゲートテンサ
●A302060ストレージテンサ販売開始
●A111001ゲートテンサ販売開始

1990
(Bシリーズ)



ツイストストップホイール オイルガイド
●B905001ツイストストップホイール販売開始
●B307013オイルガイド販売開始

2000
(Cシリーズ)



ヒステリシステンサ
●C211003ヒステリシステンサ、C106030、C204030インターレーサ販売開始
●ベアリングローラーガイド(樹脂タイプ)販売開始

2010
(Dシリーズ)



同時成形オイルガイド マルチエンドインターレーサ
テンションイコライザ 溶着式ベアリングローラーガイド
ヤーンスピードセンサ

●同時成形オイルガイド
●マルチエンドインターレーサ
●テンションイコライザ
●溶着式ベアリングローラーガイド
●ヤーンスピードセンサ

2020
(Fシリーズ)



嵌め込み式オイルガイド
●嵌め込み式オイルガイド販売開始

販売開始



100周年記念スペシャルインタビュー

湯浅糸道工業株式会社
代表取締役社長

湯浅 滋
Yuasa Shigeru

湯浅糸道工業株式会社
取締役副社長

湯浅 毅
Yuasa Tsuyoshi

創業100周年を迎えて

創業100周年記念として社長・副社長のインタビューを行いました。100周年を迎えての想いや先人達から紡いできた100年という長い歴史を振り返り、業界で長年愛され続ける要因や今後のビジョンについて語っています。

—— 100周年を迎えて率直に感じることは？

副社長 本当に一つの責任を果たしたなと思います。

副社長に就任したのは、2012年。そこから100周年までいい形で迎えることができるんだなということです。私が32歳の時に長く勤めて頂いた方が退職される際に「ぜひ100周年を見届けたいが、現実的に難しいかな。今、38歳以下の方は現職の社員として100周年を迎えることができる。その100周年がより良い時であることを私は願います。」と仰っていました。その時の言葉を思い出すと、100周年をいい形で迎えることができ、非常に胸を撫で下ろしています。

社長 私は100周年というのが、祖父が生まれてから125年経っているんだなというのを痛感しました。祖父は骨董や古美術に長けており、私の小さい頃に祖父が中日新聞に載ったことが何回もあり、商売人より学者だったのかなって思っていました。ところが、私が就職する時に祖父の自宅へ行ったら、いきなり商売とは何かっていうことをいろいろ聞かされずい商売に長けた人なのだなというのを初めて知



りました。そんな商才がある人が息子達に色々引き継ぎ、その息子達が一生懸命いい製品を作るためにめっき工場を作ったり、海外への売り込みもしました。そのお陰で今日の我々がありますので、100周年という、自分にはやはり先代が築いてくれたことへの感謝と、それに協力していただき、大変だった時期を築き上げていただいた社員の皆様には感謝しかありません。

100年は一つの節目であり、100年じゃなくて、次の150年、200年、300年、400年と永遠に続く会社になっていってもらえるように切磋琢磨していきたいと思います。次の世代へ「よし、頑張っていこう。」と思えるような会社になるように我々は努力しなければいけないなと思っています。

—— 湯浅が100年続いている要因は？

副社長 一つは「堅実経営」ということだと思います。例えば、私たちでもそうですが、社員の皆さんとの飲食も必ず実費です。これは父や伯父もそうでした。飲み連れて行きながら領収書を切っちゃう社長さんというのは世の中少なくないですね(笑)。公私混同の元でもあるのでそういうことはやらない、と大切にしてきていますね。それから当社は役員であっても定時出社・定時退社。相談役とか非常勤の立場になれば出てくる日数が限られるけれども、これは代々大事にしています。それから自己資本率の高い経営であることも要因の一つだと思います。バブルの頃でもいろいろな誘いがあったけれども、そういうものには手を出さず、着実に自分達の商売をやってきたと。いい意味で田舎待だと(笑)。

そしてもう一つは良い商材に出会えたということですね。ニッチという言葉がよく言われますけども、ヤーンガイドという大手が目を向け

堅実経営で自社ブランドを大切に。

ない商品に目を向けて、そこできちんと自分達でマーケットを築き、ブランドを築いた。これは大きいのではないかと思います。

社長 私が思うのは、やっぱり真面目にコツコツと積み重ねてきたことかなと思います。お客様に色々なことを発信して、お客様のニーズに合うような商品を開発したり、良い商品を出すために工場を立ち上



げたりと、常に前向きにいろいろな努力をしてきたこと。あと当時は中国と貿易をしていなかったのを、それを開拓し、今の販路を築いた、叔父達に非常に感謝しております。そういった努力が実って今があると思います。あとやはり運もあるでしょう。素晴らしい社員の皆さんに出会ったことも会社が今続いている要因の一つだと思います。真面目な人が集まっており、やる時はもう徹底して集中してやるというその姿勢が変わっていないのかなと。特に仕事にむちゃくちゃ静かなんですよ。仕事となると本当に口数少なく、真剣にそれぞれの業務をこなしてますよね。かといって、それが冷たいとか、そういうのではなく、一生懸命他の人と協力し合っていてやれている。そういった姿勢というのが変わっていないんじゃないかなと思います。

私は宮本輝さんの「命の器」の事を機会があることに話んですけど、やっぱり同じような人しか集まってこない。何か違うなと思ってよく見てみると、その人の本質というか、集まっている人は似ている。それにそぐわない人はみんな離れていく。たまたまうちの祖父・父達の時代に真面目な人がたくさんいて、それに賛同できる人たちが集まってくれて、そのお陰で今があると思います。

—— 今後変えていきたいことは？

副社長 世代を重ねていくと同族(経営)というのは限界が出てくるので、今取り組んでいることは同族からある程度脱却していきたいなところなんです。同族だと親族や株主しか役員になれないんじゃないかと思いがちですけど、それではやっぱり夢がない。頑張ったら頑張っただけのことがあるんだというものを築いていきたいですし、そういう職場でもありたいなと思います。やはり頑張った人は、より良い報酬を得られるような企業でありたいと思います。

社長 私が一番企業にとって良くないと危惧することは、「誰々さんがいないから仕事できない!!」という状態です。それはだいがなくなったとは思いますが、もっともっとそういった仕事を色々な方に分散して共有化し、あとオープンにできる会社になりたいですね。誰か

が不測の事態で休まなきゃいけないと他の人がフォローできる会社ですという風にしていきたいなと思います。

あとは企業というのは強い企業が生き残るわけじゃないと思うんですよ。その時代時代に合わせて色々な商売に対し順応し、耐性を持つことができる、対抗措置を取ることができる、そういった強い会社になることができるように常日頃から研鑽を重ねてより強い経営基盤を創っていかれたらと思います。

—— 次の100年に向けてのビジョンは？

社長 それは若い人が夢を持つこと。僕はやはり人は生活する上で、例えば、食べていけばいいという問題じゃないんですよ。食べるにしても米だけじゃ嫌ですよ。やっぱりおかずも食べたいし、たまにはステーキだって食べたいし、酒も飲みたいし、ケーキも食べたい。そういうことがちゃんとできる会社で、かつ食べるだけじゃダメなんですよ。ある程度質を良くして、あとは当然、やっぱり人が生きていく上で子孫を残すためにお子さんができますよね。そういったお子さんにいい教育を受けさせてあげられる、例えば家のある程度の年齢になったら建てたい、誰もがそれが実現できるようなそんな会社に、今だいがなっていると思うんですけども、もっともっとそれが普通に当たり前だよっていうぐらいに実現できる会社になってほしいと私は思います。

副社長 会社の大きい小さいではない、企業としてのプライド、企業としてかくあるべきというものを大事にしたいですね。当社は自社ブ



ランドの企業です。うちよりも大きい会社はたくさんありますよ、世の中に。だけど、下請け仕事をやっている企業の方が多い。なので、自分たちは自社ブランド。大手さんとも対等に商売をさせていただいていると思っています。それを大事にしたいですね。やはり下請け仕事じゃない自社ブランドの商売をやりたい。下町ヤーンガイドですね。湯浅プライドというものを大事にしたいです。そして人として皆さん理想を持ってほしいですね。

理想というのはなかなか叶えることが難しいんですけども、常に理想を持ってほしい。人として素敵であってほしいし、また素敵でいたい、そんな風に思います。



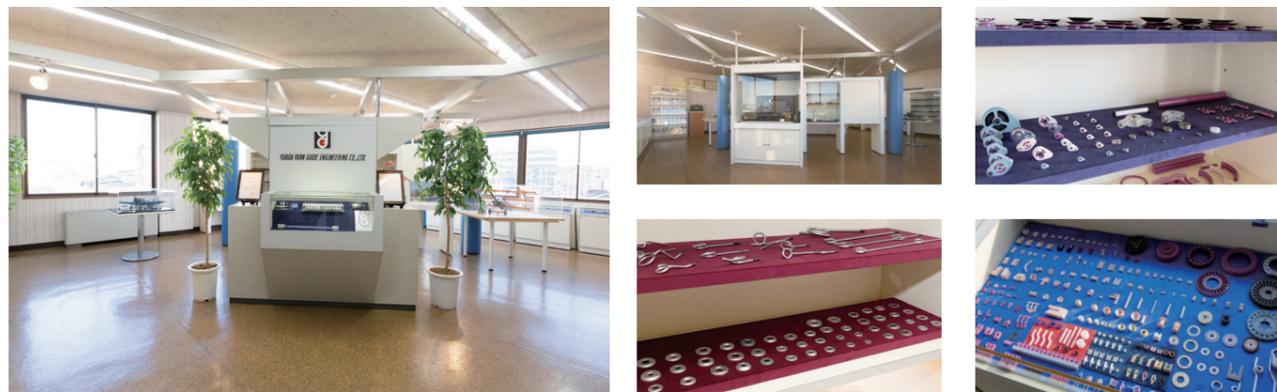
この対談は動画でご視聴可能です

製品紹介



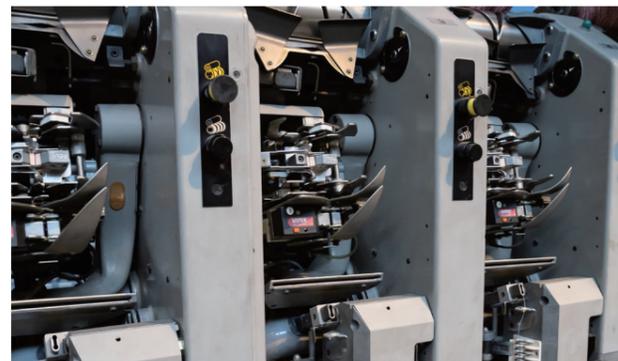
糸道としてセラミックスと金属は糸や金属線の走行部分に使用されます。長年積み重ねた技術とノウハウを駆使し、お客様のご要望に応える技術力と品質基準を満たした製品をお客様にお届けします。カタログ以外の製品やお客様からのニーズ、ご相談を元に、オーダーメイドの製品設計・製造も行っています。

ショールーム 本社3F



ショールームには過去から現在に至るまでの湯浅製品が展示されており、繊維産業と共に変化してきた歴史を感じることができます。また、カタログには掲載していない製品もありますので、来社の際には是非ショールームを見学して下さい。どなた様も見学可能です。

トヨタ産業技術記念館



糸の通るさまざまな設備に弊社の製品が使用されていることをご存知でしたか。生地（テキスタイル）を製造するための織機（写真右下）や糸を製造する紡績機（写真左下）にも弊社の製品は使用されています。それ以外の設備の用途等にも合わせて幅広い製品を取り扱い、業界内のお客様のご期待にお応えします。

設備紹介

製品の製造に合わせ、自社で設計・製作した設備や一般的な加工機も保有しています。弊社ではこれらの設備を活用し、お客様のニーズに迅速に対応しています。



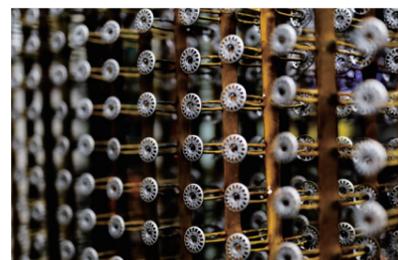
万能研削盤



パレル研磨機（回転）



射出成形機



治具



めっき層



粗さ測定器

湯浅の製品はこんなところにも使われています

湯浅糸道工業株式会社は、人々の毎日の生活に欠かせない「衣食住」の糸（繊維）を使用するさまざまな分野で欠かせない役割を果たしています。また、糸と同様の形状のワイヤー（電線）や電気製品、乗り物（飛行機や自動車）等私たちの身近なところで使われているさまざまな製品の製造にも関わりがあります。



糸や布（テキスタイル）、産業用繊維の製造に湯浅の糸道が使われています。

衣料

- ▶ 洋服
- ▶ 靴下
- ▶ タオル
- ▶ 紙おむつ



私達が普段から食べている魚や野菜、穀物にも湯浅の糸道は関わりがあります。

食品

- ▶ 漁網
- ▶ 釣り糸
- ▶ 防虫ネット
- ▶ 防草シート



住まいに関連するインテリアグッズや建築材の製造に湯浅の糸道が使われています。

住まい

- ▶ カーテン
- ▶ カーペット
- ▶ 寝具
- ▶ ボード(建築材料)



電気分野ではワイヤー（電線）の製造、通信機器・電化製品の製造にも湯浅の糸道が使われています。ワイヤー（電線）も糸（繊維）と同様に細く長いので、製造工程で糸道が必要とされています。

通信機器

電線を作る工程やケーブルの製造工程に使用
ガラス繊維を用いた電子基板や電線・ケーブルの製造工程に使用

- ▶ 光ファイバーケーブル
- ▶ スマートフォン
- ▶ テレビ
- ▶ パソコン

電化製品

モーター（コイル）製品の製造工程に使用

- ▶ 洗濯機
- ▶ 掃除機
- ▶ 冷蔵庫
- ▶ エアコン



自動車や飛行機の部品の製造工程でも湯浅の製品が使用されています。糸やワイヤー（電線）が使用されているものは、日常生活の中で目に見えますが、実際は目に見えない隠れた製品の製造にも大きな役割を担っています。「炭素繊維」から製造されるCFRPは飛行機やスポーツ用品にも幅広く使用され、湯浅の糸道と深く関わりがあります。

自動車

タイヤやエアバックの製造工程に使用

- ▶ シートベルト
- ▶ エアバック
- ▶ タイヤ
- ▶ ヘルメット

飛行機

シートや機体の電装部品の製造工程に使用

- ▶ 機体
- ▶ シート
- ▶ プロペラ
- ▶ 電装部品

スポーツ他

CFRPの製造工程に使用

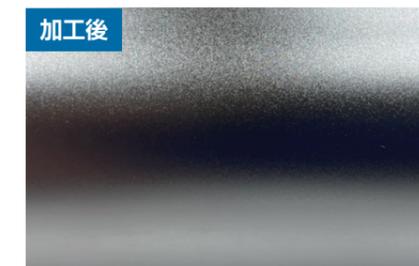
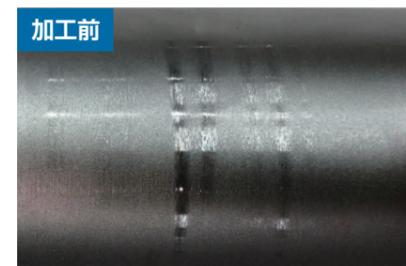
- ▶ ラケット
- ▶ ゴルフのシャフト
- ▶ 釣り竿
- ▶ スポーツバイク

SDGs への取り組み

リサイクル・リユース

お客様が使用済みになった製品を弊社にお送りいただければ、製品到着後、弊社でめっき剥離を行います。すぐに剥離してめっきすることも可能ですが一度研磨してからめっきし、新品同様の形でお戻しさせていただきます。セラミックスも使用済みになった製品を再研磨し、表面状態を再生するなどさまざまなニーズに応えています。
※各詳細についてはお問い合わせください。

加工の流れ



湯浅を支える司令塔が見据える次の100年へ

長い歴史で培われたブランド力
今の時代に合った商品開発へ

Sales department leaders **営業部**

環境に配慮した工場運用
卓越した表面仕上げ技術

製造部 Production department leaders



湯浅糸道工業株式会社
取締役営業部長
Niimi Takashi
新美 貴士

企画から販売までをプロデュース

弊社の営業は他社と違い、完成品を販売するというよりも製品の開発段階から関わっていきます。基本的にマーケティングも含めた営業活動・市場調査から始めて、製品の企画、設計は技術課に協力してもらい、こういった仕様にしたらこういうお客様に販売できるのではないかとディスカッションを重ねて企画から販売まで携わっていきます。仕様面は非常に難しく、さまざまな機能をつけるとコスト高になってしまいます。基本的に私達が製品を考える上で大切にしているのは最低限の仕様のもの（標準仕様品）を作り、プラスαを加えてカスタマイズしていくというスタイルです。お客様からのさまざまな問い合わせに対しての提案や製品の紹介は社内にも居てもできますが、やはり訪問した方がお客様も本音で話してもらえるので、新しい案件やご相談の件数が増えてきます。新規開拓の営業活動も行いますが、お客様に頼りにされる存在になることに重点を置いて活動をしています。

長い歴史で培われた「ブランド力」

5年、10年ではできない、創業当時から築き上げてきたブランド力と製品の多さ、全国、世界各地へ直接、または代理店経由で販売チャンネルを持っています。そして、「湯浅の製品を使っておけば間違いない!!」「プロは湯浅だ!」という「安心力」。これら全てが湯浅の強みであり、長い歴史の中で価値を作り続けてきた先輩方の功績だと思えます。「長い」からこそずっと使って頂いて、あえて新しい製品に変えずにまた注文するという流れも出ています。

2023年6月にミラノで開催された展示会ではASCOTEX社（イギリスの代理店）とTEXERA社（イタリアの代理店）が弊社製品の展示をしていました。その時驚いたのがASCOTEX社の知名度がとても高かったことです。ASCOTEX社のブースに訪ねて来られ、「YUASAの代理店が出展しているから来ました」というお客様もみ

えましたが、「ASCOTEX社の社長に会いに来ました。」というお客様もたくさんいらっしゃいました。販売網が確立されているので代理店との関係も深く、「ASCOTEX社＝湯浅の製品を扱ってる会社」というのが定着していることを実感しました。会場で「YUASA」のネーム入りの前掛けを付けて歩いていると出展されている機械メーカーの方々によく声をかけられました（笑）。日本の方だけでなく「いつも購入しているよ〜」と声を掛けて下さるお客様も多く、「どこからですか?」と尋ねるITMA 2023 MilanにてとASCOTEX社とかTEXERA社から買っていると仰っていたので世界中で弊社の製品が使われていると改めて感じました。



意外と知られていない湯浅の取り組み

カタログを見て湯浅の製品はこれだけだと思われることが多く、実はそのカタログに載っていない製品が倍以上あったり、カスタマイズも可能です。再メッキやセラミックスの再研磨も受託加工しています。そして、糸と製品の相性を調査したり、各種製品の比較試験も行っていますので「ここまでやっているの?」とよく言われます。繊維・電線の事などで何か困っていることは湯浅に相談したら何かなるかもしれないということを知っていただけたら嬉しいです。

今後の目標

湯浅糸道工業は「糸道」が社名に入るぐらいなので、糸道で利益を上げるのはもちろんですが、やはりプラスαをこれからやっていかなければならないと思っています。糸道でも単品売りからその前後やアッセンブリ品などを更に増やしていきたいですね。測長やテンション測定などの機能を持たせた製品や電気を使用して、糸にテンションを付加する製品をこれから開発していけば、それを制御する装置など次のステップに行くことができると思うので、そこが目標です。そしてお客様が「案できる」製品を作ること。例えば、ユニバーサルデザインにして誰が操作しても同じ条件を再現できるとか熟練度を必要とせず簡単な操作で糸かけができるとかはポイントになって来ると思えます。そういった製品に知財を取得し、他社との差別化を図り、時代に合ったモノづくりを行っていくことです。製品が完成したらあとはどう売るか、良いものがあっても売れないのは営業マンのせいですので（笑）。

環境に配慮した工場運用と 安心してご使用いただける製品づくり

「湯浅の製品を使いたい」としてもらえる製品を作ることです。そしてそれを実際に使う現場担当者が「湯浅糸道の製品をぜひとも採用してください」と発注担当者に言ってもらえるような製品を作りたいですね。また、弊社の工場は隣にマンションがあるので環境に配慮したものづくりをしていく必要があります。騒音・振動・排水処理にも気を遣い、近隣の方々に安心していただける工場の運用をしています。工作機械を使用する多くの企業と比較すると弊社の製品は小さく、非常に微細な表面加工が多く、機械に対する負荷は意外とかかりません。結果、機械を大切に扱えば長く使用でき、製品1個当たりの単価は安くなります。弊社の場合、30年ぐらい前に導入した工作機械もまだ動いています。機械のメンテナンスを行い、丁寧に使うことでできるだけ長く運用することも心掛けています。

社内設計した専用機で臨機応変な対応

企業規模の割に設計・発注・受入・表面（糸道）の全品検査・出荷など社内で行っている部分が多く、通常の加工請負のような下請けではないので営業的・商品価値的観点からも有利だと思っています。弊社の場合、専用機を社外ではなく社内で設計し、作っているものも多々あります。例えば樹脂用の射出成形機の金型もその一つです。微細な調整などは全部社内でも可能なので、臨機応変な対応ができるというのは同業他社と比べてかなり有利な点です。

高精度なバレル加工技術

糸道はお客様のオーダーに合わせて表面の粗さを調整することもあります。表面を仕上げるバレル研磨は他社と比較しても、技術は高いと思っています。研磨石に関してはサイズや形も何種類もあり、数十種類を使い分けて加工しています。それぞれの条件出しに関して、金属製品やセラミックス製品の表面をどう加工していいかというところでバレル加工技術は数十年で随分向上しました。これは弊社の製造部門の強みの一つです。

苦労の末にどり着いた硬質クロムめっき技術

めっき液が悪くてめっきをすると真っ白だという時代は大変でしたね。糸道として使われるめっきの中で、主流は硬質クロムめっきで「サージェント浴」と「フッ化浴」と言われる浴があります。梨地めっきと比較すると「サージェント浴」はめっきの粒子が小さく凸凹した状態ですが、管理がしやすいと言われており、このめっきを行って



湯浅糸道工業株式会社
常務取締役
Ikeguchi Hirota
池口 博隆

るメーカーが多いです。それに比べて「フッ化浴」は粒子が大きくなって来ますが、その代わりに液管理が難しく、弊社もかつては液の品質が低下し、管理に苦労した時期がありました。一つの例として、めっき液の中の鉄分濃度が上がり過ぎると綺麗なめっきが付きにくくなります。対策として作業時間外に電解作業を行い、鉄分除去等を行ないたいのですが、なかなか難しく、一時的な対策としてクロム原料をめっき液に投入します。そうするとクロム濃度が上がりきれいなめっきが付くようになります。しかし、何回か繰り返すと鉄分濃度がどんどん上がり、液粘度が高くなってしまいます。それにより加工中に出てくる酸素ガスや水素ガスの影響により、製品表面にガス孔という不良要因が発生します。鉄分とクロムのバランスを取らなければならなかったため、めっき液の管理は非常に難しく大変でしたね。現在は弊社独自の条件で維持しています。今の硬質クロムめっきの表面状態は自信を持っています。

今後の目標

既存の設備や加工技術では作れないものを新しい機械や社内で専用機を作ったり、新たな加工技術を開発することによって、今まで作れなかったものを作れるようにしたり加工できるようにしたいです。そうすれば、お客様に対してPRもできます。重要なのは、社内で色々な加工技術を向上させていくことですね。あとは既存の物であっても「製品公差に入っているから商品としてはOK」ではなく、同じ公差に入っているも同コストで、より幅の狭いものが作れるというようにしたいです。例えば寸法であっても±1mmであったものが公差的にはいいから商品として出せるけれどそれが±0.5mmまでできることで均一性が上がり、製品が安定します。表面粗さにしても表面の状態がよければつきが狭い、そういうものを加工コストを上げずにやっていかないといけないのかなとは思っています。

技術課

Technical Section

本社
2F

設計・開発の ブレン

業務内容

主に2D・3DCADを使用し製品設計を行います。設計した製品の性能を確認する評価試験や、客先からの調査依頼のためにさまざまな測定機器を操作します。また、商品開発のために営業部に同行し、客先でニーズ調査や立会いテストも行います。



■2DCAD・3DCADを駆使

2DCAD・3DCADを駆使して製品設計をします。営業部や自身が情報収集した顧客ニーズや要望に沿うよう製品設計を行い、性能だけでなく、使いやすさ・コスト面も考慮しながら製作します。



■顧客訪問で要望をヒアリング

必要に応じて営業部に同行し顧客訪問します。綿密な打ち合わせで必要な性能・要望を確認します。社内で設計・製作した試作品を顧客設備にて立会いテストを行い、要望に合った製品づくりをしています。



製品課

Product Section

本社
3F

製品組付の エキスパート

業務内容

主に組付・接着工程がある製品の製作を行います。更にはその製品の検査や梱包作業も行い、業務課へ製品を渡します。接着剤による接着やネジを使用した組付、プレス機を使用した圧入、レーザーマーカによる印字などを行います。外部委託（内職）への手配準備や製作の教育なども行います。



■接着作業工程

エポキシ系接着剤、シアノ系接着剤、嫌気性接着剤などを用い、セラミックスガイドと金属ホルダの接着を行っています。接着後は寸法検査、強度検査、外観検査等を行い、図面指示通りの製品ができていないかの確認を徹底し、品質第一の作業を行っています。



■TSW自動振れ検査ロボット

ワークテーブルにTSWをセットし、検査ロボットを起動し自動運転を行い、振れ検査装置で判明した合格品のTSWをワークホルダに20個ずつ置きます。運転開始後、誤作動しないように細心の注意を払いながら安全に作業を行います。



製造課

Production Section

第1工場
第3工場

ガイド製造の プロ集団

業務内容

主にセラミックス・金属・樹脂等の製作加工および、めっき・射出成形を行います。業務課からの指示に合わせ各種設備を使用し、決められた加工条件で製品を製作します。糸の触れる部分(糸道)に関しては粗さ管理も行い、製品製作以外にも射出成形用金型等の製作も行います。



■射出成形工程

射出成形はプラスチックなどの材料を高温で溶融させ、それを金型に流し込み冷却させることにより製品形状を作り出します。射出成形機を稼働させると共にでき上がった製品の寸法および表面状態の確認や受注状況に応じた作業計画を立て作業します。

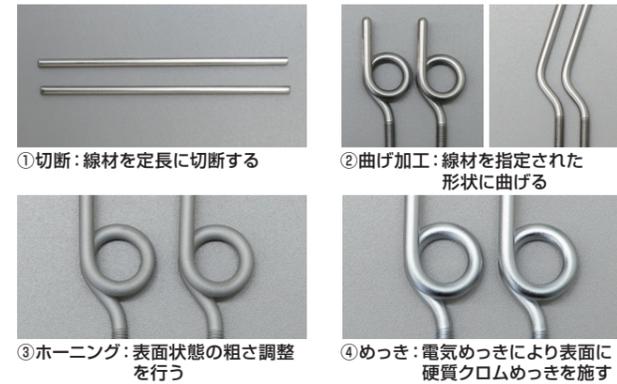


■精巧な技術が必要な金型製作

フライス盤・旋盤・マシニングセンタ等の加工機械を用いて、主に自社製品の樹脂およびセラミックスの射出成形金型を製作します。金型の細部加工ではμm単位の加工が必要で、金型製品形状においても同様の精度を目指しています。



■スネールガイドができるまでのプロセス



Pick up

信頼できる仲間と同じ方向に進む



課題や問題に対してチームで取り組むことにこだわっています。モノづくりは一人ではできません。信頼できる仲間がいなければ、その現場に価値はないと思っています。意見を出し合い一丸となって同じ方向に進んでいくことを大切にしています。

製造技術課

Manufacturing
Technology Section

第3工場
3F

社内設備のスペシャリスト

業務内容

主に製造設備の製作やメンテナンスを行います。CADでの作図・工作機械を使用した部品製作も行います。また、各設備で使用する治具の製作や設備以外にも社内の修繕依頼の対応も行います。



品質管理課

Quality Control Section

本社
1F

製品クオリティの生命線

業務内容

主に素材の受け入れや完成品の受け入れ時の検査を行います。図面に基づいた寸法検査や粗さ測定を行い、製品として重要な糸道検査は拡大鏡や顕微鏡を使用し、全数検査をします。また、客先へ提出する測定データの作成・管理も行い、測定項目・図面作成時の測定方法の選定も行います。



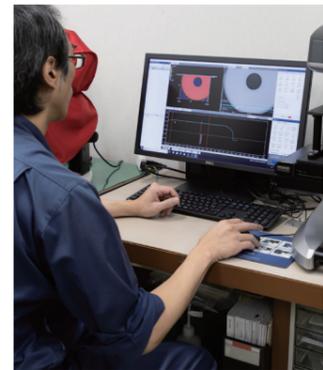
■不良品入出荷の弊

不良品入出荷の阻止・各担当者間の品質基準の統一・スケジュールに合わせた検査完了等を達成するために、課内のコミュニケーションを活発にし、過去データを活用してミスが生じないよう努めています。



■確かな技術も慎重に検査

弊社の製品は品質・材質も多種多様で、毎日多くの製品の検査を行います。検査速度および測定精度・顕微鏡による視覚精度等を向上させるため、過信せず自分を疑う気持ちで一つ一つ検査しています。



Pick up 徹底した品質管理が強み



品質管理課ではお客様に安心して湯浅製品をお使い頂けるよう、取引先・社内の情報、ノウハウを基に検査基準を設定しています。不良品が混入しないよう全数検査をし、徹底した品質管理を行っています。

業務課

Business Section

本社
1F

生産工程の司令塔

業務内容

主に製品に使用する素材や部品の仕入れ、工程に応じて関係部署に製作手配を行います。また、仕入先と部品に関する打ち合わせ、製品の出荷準備・納期管理・在庫管理・備品調達を行います。



営業部

Sales Department

本社
1F

YUASAブランドの案内人

業務内容

主に既存取引先への訪問を中心に製品PRやお客様のお困りごとへの改善提案を行います。新規開拓なども行い、国内外の展示会にも出展または視察に行きます。お客様のご相談内容により、関係部署に設計・試作を依頼し問題解決、また、受注品の製作や出荷依頼も行います。



■海外へのPR活動

海外のお客様への製品のPR、課題解決などが主な活動になります。普段はメールでやり取りをしていますが、現地への出張も年に数回あります。海外の展示会にも当社の製品を出展し、新しいお客様との出会いや既存取引先との交流を活かし、市場情報の収集に繋がっています。



■内勤業務

電話やメール、FAXでのお問い合わせへの対応業務を行います。納期や製品仕様についてなど、他部署とのやり取りが必要な内容も多く、それぞれの部署の状況を把握し円滑なコミュニケーションを心掛けることで迅速にお客様へ回答できるように努めています。



2023年
ITMA
(イタリア/ミラノ)



2023年
ITMA ASIA+CITME
(中国/上海)

Pick up お客様の現場まで足を運ぶ



常にお客様の現場まで足を運ぶことです。文系出身の私にとって現場で吸収できる専門知識は大きく、お客様の要望を正確に把握する上で大切です。実現できればいいなといった設備の悩みを聞くうちにヒントが出てくるともあります。

総務部

General Affairs Department

本社
1F

快適オフィス環境のプロデューサー

業務内容

主に労務・経理・人事・メンタルヘルス等の業務を行います。社内行事の舵取りや、人事担当として高校・大学へ訪問し求人情報の伝達なども行います。社内全体・社員それぞれが働きやすい環境となるようさまざまなサポートをしています。



TALK SESSION 01

世代も社歴も国籍も違う湯浅女子が会社への熱い想いを語り合う！
それぞれの部署から見た湯浅の魅力。

職場の雰囲気は？

野垣 フレンドリーな会社です。今いるフロアがハンニーさんのいる営業部と総務部なのですが、例えば誰かが出張に行った時やお休みにどこか行った時はお土産を買ってきてみんなに配ったり外出する時は「行ってらっしゃい」帰ってくると「おかえりなさい」って迎えてもらえる**アットホームな雰囲気が凄くいい**なと思っています。ハンニーさんも私と同じフロアにいますけどどうですか？

ハンニー 最初に感じたのは凄く皆優しい！他の部署も同じですけど、何か困った時とかすぐアドバイスくれる。あと他にも**外国人のスタッフがいるので働きやすい環境**だなと思います。さっき部長が仰ったような習慣はベトナムには全然ない(笑)。だから家族みたいなところが好きですね。

香川 本当に家族みたいな感じで、家になって思うんですけど。リラックスして仕事できるので、私にとってはすごく心地がいい場所です。皆さん本当に優しく雑談も楽しい。スーパーのどこがいいとか、美味しいお店の情報を教えてもらったりしてます。

伊谷 私は今年(2023年)新しい部署に異動しました。みんな優しく温かい人ばかりなので、とても働きやすいです。

野垣 鶴田さんは今年(2023年)入ったばかりで、しかも技術課には女性がなくて一人という状態ですけど、どうですか？

鶴田 仕事の時は技術課はそんな喋るって感じではないんですけど質問すれば皆さん優しく答えてくれます。アットホームな部署です。

湯浅の良いところは？

ハンニー 元々営業は男性がメインのイメージでしたが、湯浅に入社して女性である私も出張に行ってます。男性と女性の区別もなく、能力や適正を見て仕事を任せてもらえます。

野垣 **困っている人の相談に乗り、手を差し伸べてくれるところ**かな。例えばコロナの時、一人産休に入ったメンバーがいたと思うんだけど、彼女は地下鉄とバスで通勤していたから感染リスクを避けるため、在宅勤務がOKになり仕事を続けることができたよね。もし対応してもらえなかったらずっとお休みしなきゃいけない状況だったのでそういうところを考えてくれるのもいいところだと感じています。

ハンニー 助かるよね、それは。

香川 私も病気で長期休んだことがあって、同じように在宅勤務でしたね。お給料もいただけたのですごい助かりました。

野垣 鶴田さんは何か感じることはありますか？

鶴田 どの部署も皆仲がいい、距離が近い。そこがすごくいいなっています。



Tsuruta Mana
鶴田 真菜 さん
経歴 技術課(2023年入社)
椋山女学園大学卒業
業務 CADを使って製品の図面を描いたり、製品の開発業務に携わっています。



Nogaki Sayo
野垣 沙代 さん
経歴 総務部部长(2006年入社)
愛知淑徳大学卒業
業務 労務関係を中心に支払業務やメンタルヘルスの担当をしています。



Kagawa Yuki
香川 由紀 さん
経歴 品質管理課(2014年入社)
大阪学院短期大学卒業
業務 顕微鏡や拡大鏡を使って外観や糸道検査を一つずつ丁寧に行っています。



Le Thi Hang Ni
レーティ ハンニー さん
経歴 営業部(2018年入社)
ベトナムフエ外国語大学卒業
業務 お客様へ製品PR・提案や見積回答・注文受付を担当。国内外の展示会にも参加。



Itani Kaori
伊谷 香織 さん
経歴 製造3課(1997年入社)
吉林省长春市第十三高级中学卒業
業務 HFの部署でセラミックスの製品を並べて電気炉で高温焼結をしています。



仕事のやりがいを感じる瞬間は？

野垣 何か新しいことにチャレンジをして、それがうまく回っていったって思い始めた時がやりがいを感じる時かなと思います。去年(2022年)、法改正もあり、初めてハラスメント講習を実施しました。コロナの影響で全社一斉にできず部署毎に8回も行うことになったんです。状況を確認しつつみんなの反応を見ながら進行了ました。それは今までにない経験でやりがいを感じたところではありません。

伊谷 今の仕事で、加工する製品を並べるのが一番楽しくて、より早く作業できた時に達成感を感じ、その製品をお客様が満足して使って頂いている時です。

ハンニー お客様の困ったことや何か湯浅の製品で対策ができた時、すごく嬉しいなと思います。この間、お客様のところで糸がローラーに巻き付いてました。次の工程も改善できないかと依頼があり、技術課の人と一緒に考え、試作品を作って客先テストを行い、それで良かったと言われ、「**湯浅さんはそこまで対応してくれるんだ**」とコメントをいただいた時は、すごくやりがいを感じました。

香川 急ぎの製品を当日受け入れし、検査を完了させないといけない時は本当に焦ります。でも協力し合って早く終わらせた時にすごくやりがいを感じますし、製品課や業務課に「ありがとう!!」って言われるのは嬉しいですね。



鶴田 私はまだ日も浅いので、全部の仕事ができるわけじゃないのですが図面描いた時に自分の名前が載ると「おっ!!」って思います。

野垣 やっぱり図面に自分の名前が載ったら嬉しいよね。

香川 私見ましたよ(笑)。回ってくるんで。あ!鶴田さんもう描いてるって思って。パーガイドでしたよね!?

鶴田 そうです(笑)。名前があると嬉しいです!

100周年を迎えることについて

野垣 100周年の中に自分の勤務している時代があるというのは、すごく幸運というか誇りに思います。会社を立ち上げた時から一生懸命やってきて下さった方達あってこそ100周年を迎えることができたのだと思っています。

香川 私はまだ社歴も10年未満で、会社の100周年っていう記念すべき節目に立ち会えたことは本当にありがたいことだと思います。

ハンニー 会社が100周年を迎えることは素晴らしいことですよね。世の中色々変化があった中で、**世界のブランド「YUASA」ということを誇りに思います**。今後、自分も湯浅の実績の中にちゃんと残れるようにしたいです。

伊谷 80周年の時に慰安旅行で北海道に行きました。皆さん行きましたか？

野垣 多分伊谷さんだけです(笑)。まだ皆入社してなかったの。

伊谷 社員旅行はとても豪華でした。やっぱりお客様の信頼や実績もあるからこそ100周年を迎えられる。私は湯浅糸道で働けてすごく嬉しく思います。

鶴田 100年前って戦争がありましたよね。それより前から続いているのはすごいことだと思いますし、100周年前に入社することができて光栄です。これからもずっと続いていけるような会社になってほしいなと思います。

今後の個人目標

野垣 部署のメンバーが力を発揮しやすい環境を作るのは所属長として大切な役目だと思っています。まだ所属長として仕事をすることになってから日が浅いので、実務面、人としても内面を成長させ、私と一緒に仕事をしてみたいと思ってもらえるような人物になれるよう日々仕事に励んでいくのが今の自分の目標です。

香川 最近、品質管理課に異動で男性社員が入り、教えるのってすごく難しくってどう伝えていいのかわからないって思いつつ教えています。教えることによって分からないことを再認識し、共に成長できる人材を育成することが目標です。

ハンニー 仕事の目標は売上アップです。コロナの影響で色んな会社の景気が良くないんですけど、少しでも売上を伸ばしていかなければと思います。あと、お客様への対応をスピードアップしたいですね。知識も今後どんどん習得していきたいですね。

伊谷 私はもう少しで定年を迎えるので、長く働けるように健康に気をつけたいです。

鶴田 私はまだ入って1、2ヶ月なので、早く仕事を覚えて慣れることを目標に頑張っていきたいと思っています。



TALK SESSION 01は動画でも視聴できます。是非ご覧ください。

TALK SESSION 02

世代も社歴も違う湯浅メンズがそれぞれの仕事への想いを語ります！個性豊かなメンバーのトーク内容に注目！！

入社して意外だったことは？

吉川 会社勤務が人生初めてで社会人として会社や工場はこういうものなんだと驚くことが多く、何を話そうか悩みました。部品を加工する時に工程がいっぱいあると思うんですけど、部品毎にさまざまな加工があり、社内だけではなく途中工程を外注するなど色々な手がかわり製品ができることに驚きました。

中野 もう大昔の話になっちゃうんですけど、三重県の人ばかりでした(笑)。その当時「三重県人会」という会があるくらい三重県の人すごいって思っていたんだという驚きがありました。

中村 自分も三重県出身で、当時は寮があり、そこで三重県の人達が生活していました。寮母さんもいてくれて、朝と夜のご飯の心配はいらなかったですね。今はもう寮はないんですけど、いい思い出です。

安藤 寮っていつまであったんですか？

中村 いつまでやったかな～。30歳になるくらいで出ていけなくていけなかったのは覚えている。いつなくなったのかはちょっと記憶が飛んでる(笑)。

中野 もうだいぶ昔だよね！？

安藤 日進の方？

中野 あ、そうそう日進の方。自分はよく遊びに行っていました。

田中 僕が意外だったのは、**思っていた以上にワールドワイド**ということ。事前にホームページ等を見て、世界でもシェアを持っているなとは感じてはいたんですけど、いざ入社すると**海外向けのアイテムの販売実績や出張の頻度が多く、展示会も出展したり**とか。今、会社は名古屋にしかないのにそれで世界にこれだけ目を向けて商売をして戦っているのは驚きでしたね。今までの歴史、先人たちの努力の賜物なのかなと思いました。

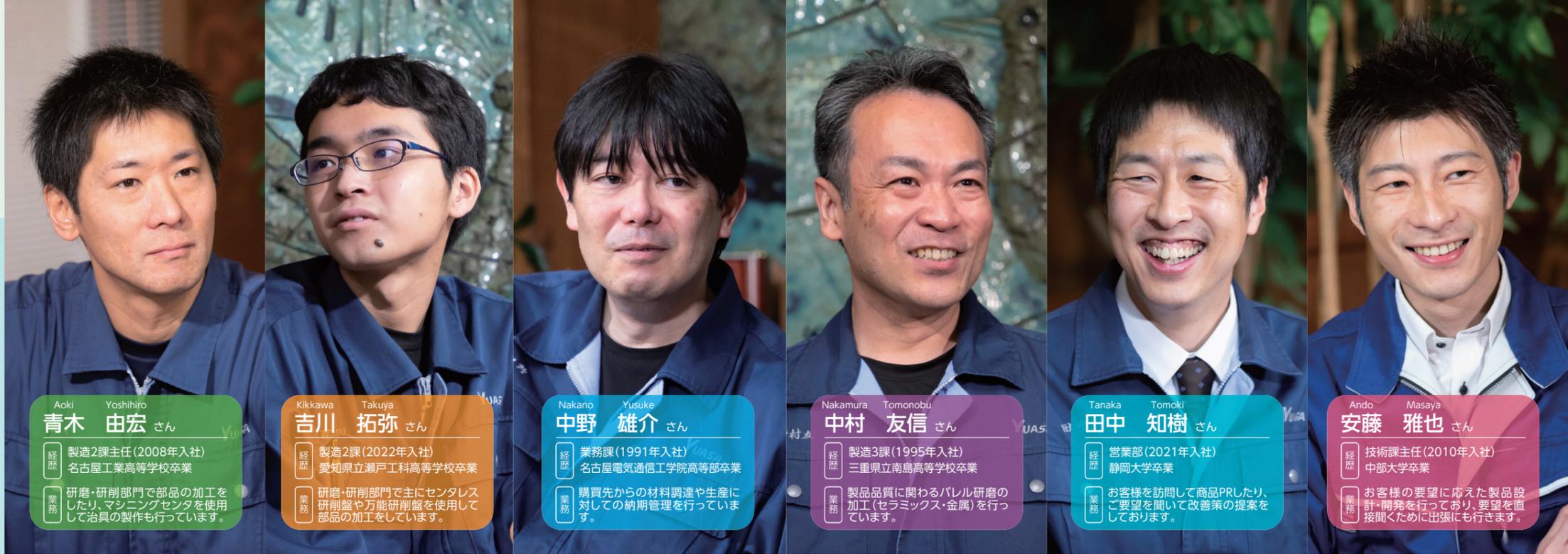
仕事のやりがいを感じる瞬間は？

田中 お客様を訪問し、お困りごとなどに提案して、それが上手く解決に導かれた時ですね。私の行った提案によって、お客様に喜んでいただいた時はすごく嬉しいです、一つでも多く経験できるように頑張るのが私のやりがい・モチベーションになってますね。

安藤 やりがいは営業担当者と近いと思います。担当者の出張に同行して直接要望を聞いてそれに基づき設計・試作し、客先テストを何度か行って、最終的に販売や量産に繋がったときにやりがいを感じます。

中村 研磨部門に関しては試作製作などを依頼された時に研磨石の選定を考えて、これでいいと思ったものを使用し、研磨して上手にでき上がった時などは「これならばよし！」という感じで嬉しく感じる場所ですね。

中野 自分もそれに乗っかっちゃうと、試作依頼してきっちり決められた納期で値段も抑えられた時が一番嬉しいというか、やりがいを感じます。



Aoki Yoshihiro
青木 由宏 さん
経歴 製造2課主任(2008年入社)
名古屋工業高等学校卒業
業務 研磨・研削部門で部品の加工をしたり、マシニングセンタを使用して治具の製作もしています。

Kikkawa Takuya
吉川 拓弥 さん
経歴 製造2課(2022年入社)
愛知県立瀬戸工科高等学校卒業
業務 研磨・研削部門で主にセンターレス研削盤や万能研削盤を使用して部品の加工をしています。

Nakano Yusuke
中野 雄介 さん
経歴 業務課(1991年入社)
名古屋電気通信工学院高等部卒業
業務 購買先からの材料調達や生産に対する納期管理を行っています。

Nakamura Tomonobu
中村 友信 さん
経歴 製造3課(1995年入社)
三重県立南島高等学校卒業
業務 製品品質に関わるバレル研磨の加工(セラミックス・金属)を行っています。

Tanaka Tomoki
田中 知樹 さん
経歴 営業部(2021年入社)
静岡大学卒業
業務 お客様を訪問して商品PRしたり、ご要望を聞いて改善策の提案をしています。

Ando Masaya
安藤 雅也 さん
経歴 技術課主任(2010年入社)
中部大学卒業
業務 お客様の要望に応えた製品設計・開発を行っており、要望を直接聞くために出張にも行きます。

吉川 第2課1階だと結構、精度要求の高い物を加工するため、対応が難しく苦労します。最終的に自分の納得いく品質ができた時は良かったなという達成感があります。青木主任はどうですか？

青木 ほぼ同意見ですね。図面の寸法通りにできると達成感があります。今、自分は新たな工作機械を使って治具を製作していて、材料を一から形にしているの、そういうのができ上がった時も達成感があります。



100周年を迎えることについて

中野 100周年と聞いて驚きなんですけど、これで湯浅も老舗という部類の仲間入りなのかなと思います。

田中 糸道という一つのジャンルで長く商売の歴史を紡いできたというのはやはり先人たちの努力の賜物といえますか、色々な苦労を乗り越えてこられたのかなと思っています。100年企業ってすごいなと思いますし、この先の100年、200年にどれだけ繋いでいけるかというところかなと思います。

田中 良いこと言っちゃったな～(笑)。今日の酒は美味いだろうな～。

中野 (田中さんは) 飲めないじゃん？

田中 吉川さんも僕と一緒にまだ社歴が浅いけど、すごいですよね。100年ですよ！

吉川 入社してすぐに100周年に立ち会えることは嬉しく思います。100周年は何月ですか！？

田中 来年(2024年)の8月だよ。

吉川 あ、じゃあ一応自分20歳迎えてますね。

全員 飲めますね！

青木 いい祝い酒になるね。100年のうちの15年勤めていますけど、**物を大事にするというイメージがすごい強いです**ね。昔からの「機械を大切に」という先輩方の熱い想いが日々受け継がれ、それが100周年に繋がったと思うので、今後もその思いを引き継いでいきたいです。

安藤 糸道業界も30～40年くらい前の製品が普通に現役で売っていますし、それくらいの時代の繊維機械も普通に稼働しているので、そういうところも含めてすごいなと思います。

中村 100周年というと1世紀ということですけど、その時に立ち会えるというのが感慨深いですね。この部屋でも見渡すと先代の社長や先輩方の写真、知っている人もいますけど長い歴史があるんだなっていうことを実感します。

今後の個人目標

田中 お客様にとっては、湯浅は1/1。湯浅しかないと思っているお客様もたくさんいらっしゃいます。その窓口となって会社の看板を背負って営業マンとしてやりとりをさせてもらっているの、それに恥じないように「100周年を迎える老舗企業営業マン」として頑張っていきたいなと思っています。

吉川 部署にある機械をひと通り使えるようになり、調整や加工ができるようになりたいです。そのためにもっと経験を積んでいきたいなと思います。もう一つ、「報告・連絡・相談」をする際に手際が悪いのでちょっとずつ見直していきたいです。

青木 報連相ができないってことは雰囲気作りがよくないのかなってドキッとしました。そこもまた新たに考えてもっと話しやすい環境を作っていくのがこれからの個人目標でもあります。自分は先程話した工作機械を覚えつつあるので、それをマスターしてパッと「これよろしく！」って渡されたら短期でできるようにステップアップでき

たらいいなと思っています。

安藤 今、主任という立場にあるので、技術課員たちの成長・教育。多分青木主任も一緒だと思うんですけど、部下を成長させるということが目標です。

青木 吉川君も早く扱える機械が両手になるくらいになってね。

吉川 はい。上司の負担を減らせるよう精進していかなければ。

中野 商品知識を深めることや購買の善し悪しを極める、それに限るかな。まだまだ目標にしているレベルには達してないと思うのでもっと勉強しないといけないなと自分自身でも思っています。

中村 自分の目標としてはこれからもっとより良いものを作っていくこと。本音で言えば、もっと手取りを良くして、少しでも昇給良く、ボーナス良くなるように(笑)。

安藤 それは皆思いますね。

中村 今よりもっと家族と旅行なり色々行けるようになれば嬉しいかな。

中野 それが一番です。

田中 いっぱい売ります(笑)!!



TALK SESSION 02は動画でも視聴できます。是非ご覧ください。



■インターンシップ

2016年から外国人留学生の受け入れを開始しました。実習では2週間で全部門を回り、設計、品質検査、組付、製品作り、外注先の見学、出荷作業など全工程に関わることができるので“モノづくり”の会社を丸ごと体験できます。

【受け入れ実績】(2016~2023年)

参加人数：21名(中部大学、名城大学、名古屋経済大学、名古屋大学、名城大学院、名古屋大学大学院、名古屋工業大学大学院)
出身国：ベトナム、インドネシア、カンボジア、ネパール、バングラデシュ、モンゴル、中国、台湾、韓国



■福利厚生

●年間休日120日 ●完全週休2日制 ●夏季休暇約9日 ●秋休暇(11月) ●年末年始休暇約7日
各種社会保険完備、退職金制度(勤務3年以上)、資格支援制度(受験料1回分支給、資格取得一時金支給)
インフルエンザ予防接種(勤務時間内に産業医にて対応)、研修制度(社内研修、外部セミナー受講可能)、
育休制度有(男性含む)、お祝い金制度(結婚・出産・住宅購入時)、社員旅行(年1回)

■社内制度紹介

①外部講習制度

提携会社の研修以外でも受講は可能です。

②資格取得制度

新たな資格にチャレンジし、自身のレベルアップを図ることができる環境です。対象資格を取得すると合格お祝い金が貰えます。



グエン ティ ラップさん 製造部 製造一課
取得した資格/危険物取扱者甲種(2022年)



レーティ ハンニーさん 営業部
取得した資格/日本語能力試験N1(2022年)

③提案賞

業務の改善を提案、実施をすると表彰され賞金(1~6級まで)が貰えます。



榎林 和弘さん 総務部
評価ランク：2級
提案内容：総務部の管理データをサーバー保管に変更(2022年)



近藤 健人さん 営業部
評価ランク：2級
提案内容：FAX受信分の注文書、見積依頼書の対応を電子化(2022年)

■新人インタビュー

鶴田 真菜さん

技術課(2023年入社)
椋山女学園大学生生活科学部生活環境デザイン学科 卒業



志望動機

私は大学でアパレルを学んでいたんですけど、そこで繊維について学び、就職活動の時に繊維業界をちょっと見てて、その時に出てきたのがこの会社で「糸道」というものに興味を持って入社志望しました。

入社後の感想

仕事の時は技術課はそんな喋って感じではないんですけど、でも人は優しいですし、質問すれば皆さん答えてくれるので、アットホームな会社だと思います。

学生にメッセージ

分からないことばかりで戸惑うこともたくさんあるんですけど、そういう時は先輩や上司が優しく教えてくれるので、安心して下さい。糸道に少しでも興味を持って頂けたらぜひ入社をお待ちしています。



先輩から見た印象

チームに活気をもたらす明るい存在です。鶴田さんのフレッシュさや前向きに取り組む姿勢がチーム全体に良い刺激となっています。



吉川 拓弥さん

製造2課(2022年入社)
愛知県立瀬戸工科高等学校新素材工学科 卒業



志望動機

高校では金属やセラミックスなど材料に関することを学び、それを活かした仕事をしたいなと思いました。幼少期からモノをつくることに興味があって就活で先生に相談した際にこの会社を知りました。ホームページなど色々調べていくうちにこの会社で働きたいと思い、入社志望しました。

入社後の感想

ユーモアを交えて話してくれる方が多いので、仕事うまくいかないって悩んでいる時でも隣でちょっと面白い一言を話してくれて場を和ませてくれます。そういうところにはすごく助けられています。

学生にメッセージ

モノづくりが好き、少し他の企業とは違うモノや精密なモノを作りたい人には特に勧めたいです。小さな製品の製作や製品を組み立てるのが好きな人にも是非来て欲しいです。



先輩から見た印象

まだまだ未熟な面はありますが周りとのコミュニケーションや仕事面では日々成長を感じます。今後の成長に期待しています。



動画視聴はこちら



会社概要

社名	湯浅糸道工業株式会社	
代表者	代表取締役社長 湯浅 滋	
本社	〒468-0066 名古屋市天白区元八事1丁目47番地 TEL (052) 831-7281 FAX (052) 834-5105	
南第1・2工場	〒468-0065 名古屋市天白区中砂町81番地 TEL (052) 832-3034 FAX (052) 832-3306	
南第3工場	〒468-0065 名古屋市天白区中砂町181番地 TEL (052) 834-1411 FAX (052) 834-1288	
南第5工場	〒468-0065 名古屋市天白区中砂町131番地 TEL (052) 838-8761	
資本金	93,596,000円	
創業	1924年8月1日	
創立	1963年3月5日	
社員数	69名(2023年10月1日現在)	
役員	取締役副社長	湯浅 毅
	常務取締役	池口 博隆
	取締役営業部長	新美 貴士
	監査役	鈴木 伸明
取引銀行	北陸銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行	

営業種目

繊維およびワイヤー用糸道全般
繊維機械、ワイヤー機械用機器装置
硬質クロームめっき
線材曲げ加工

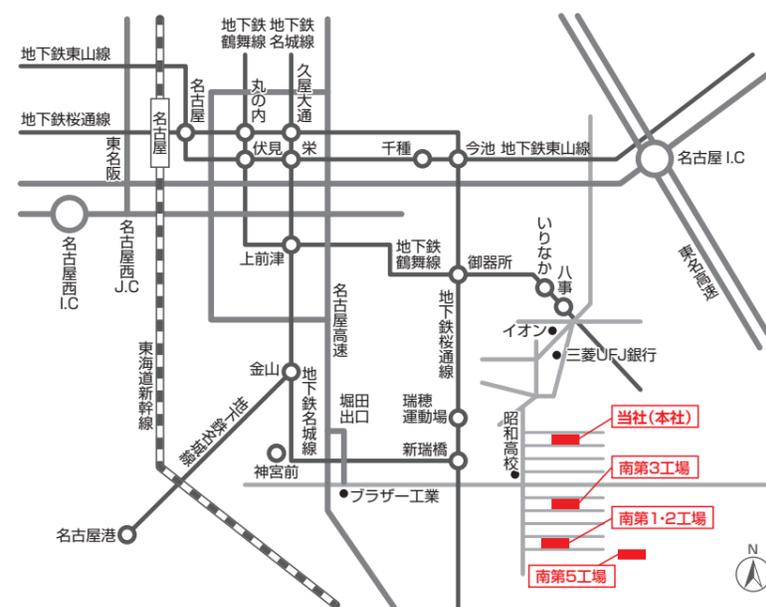
国内主要取引先

- ・化合織メーカー各社
- ・紡績会社各社
- ・燃糸、織布、ニット工場各社
- ・繊維機械メーカー各社
- ・繊維機械用機器部品メーカー各社
- ・電線製造、加工工場および機械メーカー各社
- ・商社および機料店各社

展示会実績

2015年11月	ITMA (イタリア/ミラノ)	2019年11月	SHANGHAITEX (中国/上海)
2016年10月	ITMA ASIA+CITME (中国/上海)	2022年10月	北陸ヤーンフェア (日本/福井)
2017年11月	SHANGHAITEX (中国/上海)	2022年12月	JIAM (日本/大阪)
2018年4月	WIRE (国際ワイヤー産業展) (ドイツ/デュッセルドルフ)	2023年6月	ITMA (イタリア/ミラノ)
2018年10月	ITMA ASIA+CITME (中国/上海)	2023年11月	ITMA ASIA+CITME (中国/上海)
2018年10月	北陸ヤーンフェア (日本/石川)	2023年11月	北陸ヤーンフェア (日本/福井)
2019年6月	ITMA (スペイン/バルセロナ)		
2019年10月	北陸ヤーンフェア (日本/福井)		

アクセスMAP



◆交通機関
地下鉄「新瑞橋」駅・名鉄「神宮前」駅から市バス「中根」下車
JR・地下鉄「千種」駅・地下鉄「いりなか」駅・「八事」駅から市バス「昭和高校前」下車

◆お客様
お迎えに上がります。
JR「名古屋」駅から在来線にて「金山」駅へ。
地下鉄名城線に乗り換えて「総合リハビリセンター」駅下車
2番出口までお越し下さい。



製品輸出国



メディア紹介

▼Official Site ▼Media Site ▼会社案内動画 (youtube)

QR codes for Official Site, Media Site, and company introduction videos (2019 and 2022).

▼会社設備案内 (バーチャル)

QR codes for virtual tours of the company facilities (Main Office, South No. 3 Factory, and South No. 5 Factory).

100th Anniversary Company Brochure
Production Coordinator
Sayo Nogaki, Kazuhiro Makibayashi